令和6年度　正気小学校　学校評価（関係者評価）

1　学校教育目標

豊かな心を持ち、進んで学び、たくましく生きる児童の育成

2　自己評価結果

（1）「割合」の欄は、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた肯定的な回答の割合
（2）「取組状況の目安」　８０%以上：Ａ　６０%～８０%未満：Ｂ　６０%未満：Ｃ

No.	項　目	評価者	割合	取組状況	改善の方策	学校関係者評価 自己評価の適切さ	学校関係者評価 改善に向けた取組の適切さ
創意ある学校経営	地域団体や企業、SCSやボランティアとの連携を図っている。	児童	87%	A	地域団体や企業、SCSとの連携、情報発信において、児童、保護者、教職員から高い評価を得ている。学校ボランティアの募集方法や運営方法については、より一層の改善を図り、より多くの皆様にご参加いただけるよう努めていく。	A	A
		保護者	87%	A			
		教職員	94%	A			
	情報発信（お便りやメール配信）に努めている。	児童	89%	A			
		保護者	96%	A			
		教職員	100%	A			
学校運営の懇意談見会	・今年度は、味噌造り体験と地区運動会での交流もあって、子供たちにとってよい体験になっている。 ・木曜日の下校が早い時や休みの時など、地域の方々の協力も頂いて、農業体験やお祭りの踊り、お囃子や和太鼓を習うのもよいかもしれません。 ・外部人材の活用を積極的に行っていてよいと思う。学校だけではなく、外の人の話を聞くのは、大切なことだと思う。 ・学外協力団体や各地区自治体との連携・協力により、教職員の負担軽減や学校環境の維持改善を図る。そのために、ボランティアの参加を促す。 ・工夫の跡が見られます。これからも継続してください。 ・情報発信は、熱心に行っていると思う。 ・情報発信もなされていると思いますが、メールなどでの配信が苦手な方に関しては、前もって連絡を頂いた方のみ手紙対応してあげてもよい。 ・十分とは言えないのかと思う。発信の仕組みの見直しも考慮してもよいかと思う。 ・まだまだ紙支持派は多いと思う。完全ＩＣＴ化ではなく、ほんのちょっとアナログの部分も残した方が、保護者の反発も和らぎそう。 ・『学校だより』で二か月分の予定を知らせているが、一か月分の案内にして、できたスペースに子供の活動を知らせてみてはいかがか。 ・ＰＴＡ→ＳＣＳに移行され、その後支障はなく、行事などが行われたか？ ・ＳＣＳの成果と課題を明らかにして、次年度に取り組んでください。 ・ＳＣＳは、直接話し合う場を開催して頂きたい。						
人生を主体的に切り拓くための学びの確立	ICT機器を活用した授業を行っている。	児童	87%	A	保護者の評価が他の評価者と比較してやや低いという現状を受け、以下の改善策を実施する。 ①ICT機器を活用した授業を公開する。児童が家庭でもICT機器に触れる機会を増やすため、学習用Webサイトを活用する。ICTサポーターによる支援や、教育DXを活用した研修を充実させ、ICT機器を効果的に活用できる環境を整える。 ②個別最適な学習の実現に向け、AI搭載のドリルプラネットを活用し、児童一人ひとりの学習進度や理解度に合わせる。協働学習や体験学習など、多様な学習形態を取り入れることで、児童の主体的な学びを促す。教職員は、効果的な指導方法に関する研修を継続的に行い、児童一人ひとりの学習をきめ細かくサポートする。 ③今年度7月から新たに配置された学校司書による、図書室の環境整備と読書指導の強化を進める。児童の興味関心に合わせた図書の充実を図り、読書習慣の定着を目指す。	A	A
		保護者	77%	B			
		教職員	81%	A			
	子供が基礎学力を身に付けられるよう支援している。	児童	88%	A			
		保護者	77%	B			
		教職員	100%	A			
	授業で、考えを発表し、意見交換できるよう指導している。	児童	86%	A			
		保護者	78%	B			
		教職員	88%	A			
	「夢の教室」やキャリアパスポート等を効果的に活用できている。	児童	86%	A			
		保護者	74%	B			
		教職員	73%	B			
	異文化理解を深めるとともに、コミュニケーション能力を高めている。	児童	87%	A			
		保護者	73%	B			
		教職員	100%	A			
	家庭学習や読書習慣の定着を支援している。	児童	83%	A			
		保護者	75%	B			
		教職員	81%	A			
学校運営の懇意談見会	・子供たちは、ＩＣＴ機器を活用して充実した授業を行っていると思う。これからの子供たちを育てる意味で大切なことだと思います。頑張ってください。 ・授業公開はよいと思う。ＩＣＴを活用した授業の楽しさを、保護者にも体験してもらうのもよい。 ・ＩＣＴ機器を活用して、子供たちの学力向上の評価は、どのようにされているか。 ・児童と向かい合って、常に改善点を考えて取り組まれていると感じる。地域の人的資源を活用する取り組みを小学校から発信すると、いろいろなアイデアが生まれるのではないかと思う。 ・フリー参観を増やしていただき、もっと授業内容を見てもらうとよい。 ・学ぶ親を見て、子供は学ぶ大切さを知ります。保護者の方も、学ぶ楽しさを味わえるようになるとよい。 ・電子黒板も含め、数とグレードを揃えていただきたい。 ・働き方改革で時間的に限りがあるとは思いますが、頑張って欲しいです。 ・正気地区はよい方だと思いますが、７４%。 ・親へのアプローチも優先すべきである。 ・図書室はよくなっている。次年度は、さらに期待できるということで安心した。 ・学校司書の配置がよかった。今後の学校図書館運営が充実したものになることを望みます。 ・読書週間を推奨、情報収集・活用を大人・子供で一緒に取り組むべきである。 ・正気地区として応援できることがあれば、積極的に行っていきたい。						

心の教育を推進する道徳性の高め	道徳教育等、いじめ防止のための取り組みを行っている。	児童	86%	A	保護者への情報発信を強化し、学校での具体的な取り組みを共有することで、理解と信頼を深める。児童の心の健康を第一に考え、教職員の専門性向上を図りながら、スクールカウンセラーや外部機関との連携を強化し、保護者との連携のもと、児童の声をしっかりと聞き、よりよい学校環境を築く。	A	B
		保護者	69%	B			
		教職員	100%	A			
	子供の悩みや問題に丁寧に対応している。	児童	85%	A			
		保護者	64%	B			
		教職員	100%	A			
学校運営懇談会委員の意見	・道徳の一部と思うが、子供たちは挨拶が良くできていると思う。 ・学校の丁寧な取り組みを、広報していけるとよい。学校は、子供たちに寄り添っていると感じる。 ・いじめ防止の取り組みや、不登校児童・家庭へのアプローチと対策について、どのようにされているのか。 ・自分の子供を通しては分かりかねる部分ですが、カウンセラーの方もいらしてたり、子供に向き合う形でよくしてくれていると思う。 ・質問内容について、児童・教職員は分かっているので取り組み状況がＡとなっているが、保護者は内容について分からないためＢになっているのでは。他の質問に関しても、同様に感じる。 ・スマートフォンの普及により、外からは見えない部分が多くなっているように思えます。 ・スマホの所有の低年齢化で、様々な事案が出てきているかとお察しします。私にも。中・高校生の子供がおりますので、道徳教育やいじめ防止について、我がこととして考えていきたい。 ・子供が自由に話せる場や先生がいるとよい。 ・本来であれば、ご家庭に対応していただきたい。 ・家庭内でのコミュニケーションも大切にして欲しい。 ・保護者の割合が低いのが気になります。先生方の取り組みを、今以上に発信して欲しいです。						
健康・体力づくりの推進生涯をたくましく生きるた	体育や外遊びを通じて、運動意欲の向上と体力を向上を図っている。	児童	89%	A	多様な活動を取り入れることで、スマイルタイムを運動能力向上だけでなく、協調性や創造性を育むための場としてさらに活用する。 味噌づくり体験や栄養バランスの学習をとおして、残食率は低下してきたものの、魚や野菜の摂取不足が課題となっている。今後は、児童の好みに合うメニュー開発や食材に関する体験型学習を推進する。 衛生面では、手洗い・うがいを徹底し、感染症予防に努めている。給食当番の衛生教育も強化する。 災害対策は引き続き定期的な点検や訓練を実施し、より高い安全意識を醸成する。	A	A
		保護者	81%	A			
		教職員	94%	A			
	食育（栄養指導や給食）を通じて、子供のよい食習慣を育んでいる。	児童	92%	A			
		保護者	94%	A			
		教職員	100%	A			
	衛生指導（うがい、手洗い、歯磨きなど）を適切に行っている。	児童	89%	A			
		保護者	81%	A			
		教職員	94%	A			
	校舎や遊具の点検に加え、地震や火事などの災害に備えている。	児童	88%	A			
		保護者	93%	A			
		教職員	94%	A			
学校運営懇談会委員の意見	・今日の縄跳び大会を見て、苦手な子供もこの行事を行うことで運動の楽しさを体験できるので続けて欲しい。このような行事がなければ、児童は進んで運動をやらないと思う。家庭ではほとんどやらないと思うので、学校で行う方がよいと思う。 ・縄跳び大会でも良く声が出ていて、事前に指導されている姿が目に浮かびます。 ・縄跳び大会や運動会などで、子供たちの頑張る姿を拝見できて幸せです。こちらもパワーをもらえます。是非とも続けていただきたいです。 ・心と健康のためにありがとうございます。 ・課題に向かって、取り組まれていると思う。 ・夏休みなどを使って、実際に学校で災害を想定してキャンプ体験をしてみるのはどうでしょうか。 ・生活の基本的な項目を大切にしてもらいたい。 ・遊具は欲しい。 ・災害対策に終わりはないが、地域との連携が必要である。						
特別支援教育	特別な支援が必要な子供に対して、適切な対応をしている。	児童	88%	A	教育相談窓を積極的に行いつつ、様々な特性を持つ児童に対し、個別支援計画を作成するなど、保護者と密に連携していく。また、教職員の専門性を高め、チームティーチングを推進することで、一人ひとりの児童に最適な教育的支援を行っていく。	A	A
		保護者	93%	A			
		教職員	100%	A			
学校運営懇談会委員の意見	・前回の参観日の見学で、各クラス、細やかな指導をされていると思いました。 ・児童の中にも、先生方の取り組みのねらいが、発達段階に応じて浸透するようになるとよい。 ・今まで通り、一人ひとりと向かい合って、適切な支援をお願いします。 ・教室を設けて、子供たちの居やすい環境を整えていただけていると思う。 ・価値観は、人とは違うということを認めることだと思います。 ・引き続き、細かな指導よろしくお願いします。						